積丹町津波避難訓練

10分以内により”高く“、より”遠く“へ！

余別

11月1日、町内全域を対象とした津波避難訓練が行われ、約140人が参加しました。

今回の訓練は、今年の2月に公表された日本海沿岸の津波浸水想定を参考に、IP告知端末機や屋外拡声器からの津波警報発令・避難指示放送から、10分以内に町民の皆さんが想定した避難場所へ避難できるかを確かめるものです。

津波などの自然災害は、広報等でお知らせしているとおり、日頃から災害発生時の避難場所や避難経路を把握し、迅速な避難を行い自分の命を守る「自助」と、地域の人たちと協力しながら避難を行う「共助」の意識が大切です。

今回は、4つの小中学校も訓練に参加し、町から流れる避難指示放送に合わせ、グラウンドや体育館などの安全な場所に避難をしました。美国小学校では、校舎の2階を避難場所と定め、担任の先生が安全だと判断した避難経路で、児童全員を速やかに避難させるなど、共助の工夫が見られました。

野塚

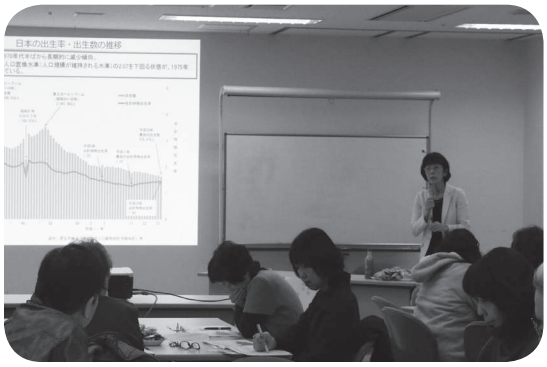
災害はいつ発生するかわかりません。町が行う「公助」も重要ですが、緊急時は町の指示や判断を待つことによって、危険が迫ってしまう可能性が高まります。津波の危険性がある場合は、「より高く」、「より遠く」へ避難するように、町民の皆さん一人ひとりが防災意識を高め、自らの命を守る行動を心がけましょう。

～“共生のまちづくり”の大切さを考える～

「積丹共生セミナー」

特別養護老人ホーム「ゆうるり」を運営するよいち福祉会主催の『積丹共生セミナー』が11月19日、総合文化センターで行われ、約60人が参加しました。

講師に、一般社団法人北海道総合研究調査会（HIT（ヒット））理事長で元内閣府まち・ひと・しごと創生本部参事官の五十嵐智嘉子氏と、北広島団地地域サポートセンター「ともに」の向山篤氏を迎え、共生のまちづくりとは何かを考える講演でした。



五十嵐氏は、日本中が人口減少時代に突入し、地方の人口が急激に減っている今だからこそ、世代を問わず、地域の共生社会を築いていく必要があると話し、また、「**なにが成功して、なにが失敗するか誰もわからない。まずは挑戦すること**」と、これからの「まちづくり」への挑戦を訴えられました。

向山氏は、子どもや高齢者、障害者などの交流の場として、閉校した小学校を活用している取り組みや、その地域で暮らす住民が主体となって行っているイベントなど、北広島の取り組みを紹介しました。

講演終了後に参加者によるグループワークが行われ、**『共生』の視点から「ゆうるり」を活用してなにができるか**などの話題で様々な意見が出されていました。

参加者からは「積丹町は個々の助け合いはできているが、地域全体の共生を考えると体制ができていないように感じる。今後はその体制づくりをしていかなければ。」と一人でも多くの住民参加の大切さを考える良い機会となりました。

第47回 積丹町文化祭

第47回積丹町文化祭（主催・文化祭実行委員会・河岸悟郎委員長）が、総合文化センターを会場に開催されました。

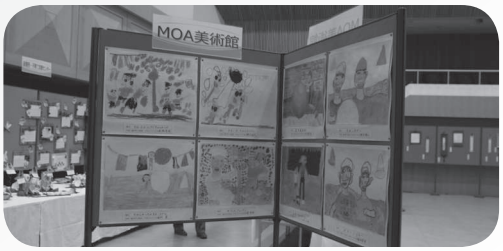
展示の部は11月1日から3日まで行われ、保育園児や小中学生、町内文化団体や一般町民の方々から出品された書道や絵画、生け花や陶芸など計713点の作品が展示され、期間中402名の方が参観に訪れました。

また3日には、美国婦人会によるバザーも行われ、多くの人で賑わいました。

11日には芸能発表の部が行われ、町内各地区の婦人会やカラオケ愛好会による歌と舞踊、美国中学校吹奏楽部と野塚小児童による楽器演奏、余別小児童によるダンス、詩吟愛好会による詩吟のほか、昨年結成したB＆G合唱クラブの息の合ったコーラスなど、日頃の練習の成果を披露しました。この日訪れた175名の参観者からは、演目が終わるたびに、大きな拍手が送られていました。

芸能発表の部（11月11日）

展示の部（11月1日～3日）



志望校合格を手助け

「海洋センターを活用した地域コミュニティの再生に関するモデル事業」

B＆G受験生サポートゼミナール

高校入試を控えた中学３年生を対象に、志望校へ合格するための自信と学力を身につけることを目的とした「B＆G受験生サポートゼミナール」が11月８日から海洋センターを会場に行われています。

これは、町内に学習塾等の学び場がない現状を踏まえ、塾でもない学校でもない「第３の学び場」として海洋センターを活用し、学力向上を目指すもので今年から新たにスタートしました。

講師の山旺ゼミナール（江別市）塾長の内山治氏から、翌年２月下旬までの毎週水曜日、全15日間の日程で数学と英語のつまずきそうなポイントなどを教わり高校入試に備えています。

参加している受験生たちは、講師に積極的に質問するなど、学校とは違った新鮮な環境で、志望校合格に向けて真剣に取り組んでいました。来年１月には、入試を目前にした模擬試験が行われる予定です。